

授業科目名 <英訳>	システム科学通論 Systems Sciences Advanced			担当者氏名	情報学研究科 教授 杉江 俊治	情報学研究科 教授 加納 学	情報学研究科 教授 田中 利幸	情報学研究科 教授 酒井 英昭	情報学研究科 教授 高橋 豊	情報学研究科 教授 石井 信	情報学研究科 教授 松田 哲也	学術情報メディアセンター 教授 中島 浩	情報学研究科 准教授 東 俊一	情報学研究科 准教授 西原 修	情報学研究科 准教授 川上 浩司	情報学研究科 准教授 林 和則	情報学研究科 准教授 笠原 正治	学術情報メディアセンター 准教授 岩下 武史	情報学研究科 准教授 中尾 恵	情報学研究科 講師 大久保 潤	情報学研究科 講師 大羽 成征
	配当学年	1回生以上	単位数		2	開講期	後期	曜時限	水3	授業形態	講義										
授業種別	専攻基礎科目			授業言語	日本語																
【授業の概要・目的】																					
受講者持ち回りの口頭発表と全受講者を交えた討議による双方向型講義を行う。システム科学に関する最新の話題の幅広い紹介、受講者に対する複数教員からのアドバイスの場の提供、研究発表リテラシー向上を目的とする。																					
【授業計画と内容】																					
受講者は持ち回りで自分が興味を持つシステム科学研究に関してレジユメを用意したうえで口頭発表を行う。その後、アドバイザー教員と全受講者を交えて口頭発表を踏まえた討議を行う。受講者は、このことによって修士課程研究の進め方について所属研究室外複数教員からのアドバイスを得るとともに、レジユメ文書や口頭発表に基づく研究発表のリテラシーを身につける。授業計画は学生のプレゼンテーションと適切な複数教員によるアドバイスの機会を保障するべく、履修者決定後に世話役教員が作成する。																					
【履修要件】																					
特になし																					
【成績評価の方法・基準】																					
アドバイザー教員と学生によって、発表者学生の研究分野への理解度とプレゼンテーションの能力を総合的に評価する。参加者・討議者としての出席も評価の対象とする。																					
----- システム科学通論(2)へ続く -----																					

システム科学通論(2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)
とくになし。

(その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等))

その場での意見交換を重視しており、とくにそのような設定を行う必要はないが、訪問は随時可能の
ように工夫する予定である。

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。